飯伊民医連だより

9月
2020
No.232
隔月刊

特養あずみの里業務上過失致死事件裁判（7/28）

これまで署名・募金などご支援の活動をお寄せいただきましたすべてのみなさんに感謝いたします。

7月28日に開催された東京高裁では、大方の予想を覆す「無罪判決」を言い渡しました。

「原審（一審）を破棄し、被告人は無罪！」。判決の知らせを待っていた東京高裁前の支援者、全国各地で情報を待つ支援者は歓喜に包まれました。これは被告として6年半、介護現場を守りながら闘ってきた山口けさえさんの頑張りと、弁護団の力、そして、それを支えてくださった全国の多くのみなさんのおかげです。改めて感謝を申し上げます。

8月11日、東京高等検察庁が上告を断念、無罪が確定！

8月11日、東京高等検察庁は安曇野市の特別養護老人ホームあずみの里で、入居者の女性（当時85歳）が、おやつのドーナツを食べた後に死亡した事故で、業務上過失致死罪に問われた山口けさえさん（准看護師60歳）を無罪とした東京高裁判決について、最高裁に上告しないと発表。11日が上告期限でした。これで山口さんの無罪が正式に確定しました。東京高検の久木元伸次席検事は「判決内容を十分に検討したが、適法な上告理由が見いだせなかった」とのコメントを出しました。

長野地裁松本支部一審裁判で弁護人側証人として出廷した、健和会病院総合リハビリテーションセンター長　福村 直毅医師は、「私はこの裁判に証人として出廷、長野県で初となるパワーポイントを用いた証言で詳細に嚥下機能を分析し、誤嚥リスクは低く窒息ではないと証明しました。東京高裁では、嚥下障害ではないと認定され、当方の主張が理解いただけたと感動しています。安全あっての楽しみ。医療福祉関係者が一層学習されることを願います。」と述べています。

長野県民医連介護ウェーブ推進委員会　水野 耕介

山口さんの無実が明らかに！

2014年12月に裁判闘争が始まり、5年半という長い時間に渡って全国各地のみなさんからの多面的支援をいただき、特に、長野県内のみなさまによるご支援には強く励まされました。お蔭様で画期的な「無罪を勝ち取る」ことができました。この紙面をお借りして深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

特養あずみの里

2012年12月12日午後3時過ぎ、特養あずみの里Cチーム食堂で利用者17人がお昼ご飯を食べていました。日頃は、介護職員三人で業務をするのですが、この日は介護職員一人が他の利用者対応に時間を要していたため介護職員は一人でした。そこで、看護師の山口さんが手伝いに入り、おやつ配膳後全介助の方の食事介助に就きました。遅れて入ってきた職員が、意識を失ってベッドに仰向けにもたれかかっている利用者（お亡くなりになった女性）を発見、救急対応後、病院へ救急搬送しましたが、意識が戻らぬまま約1ヶ月後に永眠されました。その後、ご家族とは2014年2月示談となりましたが、2014年12月26日、山口さんは松本地方裁判所に業務上過失致死罪で在宅起訴となりました。

松本地裁第一回公判

2015年4月27日、第一回公判。以後、松本地裁での公判は2019年3月25日の判決含め公判全23回開催。地裁判決当日、不安こそありながらも「無罪」を信じていました。が、「不当判決」の旗が出された時は時間が止まり、とてもやるせない気持ちになったことを今も忘れることができません。山口さん弁護団は即日控訴、判決直後の報告集会では、弁護団の先生方の熱意と集まっていただいた支援者の多くの方々の姿に励まされ、控訴審では必ず無罪を勝ち取らなければと胸を熱くしました。

東京高裁第一回公判

2020年1月30日、東京高裁第一回公判では、弁護団の申し入れを一切聞き入れることなく、即日結審に。なぜ、聞く耳を持たず、真実から目を背けるのか、強い怒りを覚えました。

「無罪確定」！

原判決破棄、無罪！

しかし、7月28日の東京高裁第6刑事部第二回公判での判決は「原判決を破棄する。無罪！」に。判決内容は、松本地裁の一審判決「有罪」の破棄のみならず、そもそも今回の件は起訴に値しないという判断もされました。これまでの裁判闘争の間、なぜ伝わらないのかとずっと煙に巻かれ続けていた私たちの思いが一気に晴らされた内容です。

また、この判決は、介護を必要とする高齢者の人権にも触れ、それに携わる介護職員に希望をも与える文面で締めくくられています。

——「窒息の危険性が否定しきれないからといって、食品の提供が禁じられるものでないことは明らかである」「間食も含め食事は人の精神的な満足感や安らぎを得るために有効かつ重要である」——

介護現場での事故は起きない方が良いのは確かです。しかし、利用者の安全やリスク回避を最優先にすれば、消極的介護となり、「その人らしさ」、そして、「人権」をも奪ってしまうことにも繋がりかねません。リスクを考慮しながらも、「介護生活の質の可能性（最も良い介護）」にアプローチをしていくのが私たち介護に携わる者の大切な仕事であり、役割であり誇りです。今回の無罪判決では、ここに委縮することなく堂々と追求することができる、まさしく「介護の未来」を大きく切り拓くことができました。今後も、介護・福祉の充実をめざし、今回の件で多くの方に知っていただく機会となった「介護現場の実情」の改善をめざし、奮闘していきたいと思います。みなさま方からのさらなるご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

特養あずみの里 業務上過失致死事件裁判で無罪を勝ち取る会 事務局長
手塚 健太郎
（社会福祉法人協立福祉会 介護職部長）

あいうべ体操でコロナウイルスを寄せつけない身体に！

新型コロナウイルス拡大の影響で家にこもりがちな会員のみなさんに、フレイル予防の機会を提供しようと、伊那谷健康友の会では『あいうべ体操』を動画共有サイト「YouTube」に投稿しました。この体操は、口の周りの筋肉を鍛え「鼻呼吸」の習慣化により免疫力を向上するもので、その絶大な効果はすでに実証済みです。健康まつり医局座でおなじみの「牛山おばあま」も登場しています。一度チェックしてみてください。

伊那谷健康友の会では、社会医療法人健和会（飯田市鼎中平）と一緒に地域で「安心して住み続けられるまちづくり」に取り組んでいます。これから、自宅でもどこでもいつでも手軽に簡単にできる「フレイル予防」の運動を紹介していきます。第一弾は、オーラルフレイル予防として「あいうべ体操」をご紹介します。この動画をご覧いただき、ぜひご一緒に取り組んでみてください。

（伊那谷健康友の会事務局）

伊那谷健康友の会「あいうべ体操」
YouTube URL は
https://youtu.be/YpYHmuhUbN4
QR コードはこちら

「あいうべ体操」ってどんな体操なの？

「あいうべ体操」って聞いたことがありますか。「あいうえお」、じゃなくて「あいうべ」って少し変ですね。

「あいうべ体操」は、福岡県福岡市にある「みらいクリニック」院長の今井一彰医師が考案した、「口呼吸を鼻呼吸に改善していくための簡単な口の体操」です。いつでもどこでも誰でもできる「あいうべ体操」は、「食後に10回、一日30回」を目安に地道に続けると、"舌力"がついて自然と口を閉じることができるようになります。

口を閉じるということは、鼻で呼吸をしているということで、実はこれがとっても大切なことなんです。

「あいうべ体操」で「口呼吸」から「鼻呼吸」に改善しましょう！

口呼吸の改善は、あらゆる病気の原因治療につながります。そのため、「あいうべ体操」をしっかり継続している人は、自然に鼻で呼吸ができるようになり、症状が改善していくことがあります。

呼吸は生まれてから死ぬまで一時も休むことなくしなければなりません。

一日の呼吸回数は何と2万回にも及びます。それを鼻からする鼻呼吸なのか、口からする口呼吸なのかで、驚くほどあなたの体が変わってきます。

「あいうべ体操」をしっかり継続している人は、鼻での呼吸が自然にできるようになり、アレルギー性疾患や花粉症等の症状などが改善したり、インフルエンザなどの感染症にもかかりにくい身体を作っていくことができます。鼻呼吸だと、口呼吸よりも適度な湿度を保つことができ、より暖かくなった空気を体の中に取り入れるので、インフルエンザ予防に効果があるのもうなずけます。

「あいうべ体操」はこんな方におすすめです。

- 口がいつも開いている。
- 口を開いて食べている。
- 何となく疲れやすい。だるい。
- やる気が起きない。
- 手軽に、いつでもどこでもできる健康法が知りたい。
- アレルギー性疾患（花粉症、喘息、アトピー性皮膚炎など）で困っている。

「あいうべ体操」のやり方は、次の4つの動作を順にくり返すだけでいいのです。声は出しても出さなくてもかまいません。

1～4を1セットとし、「1日30セット（食後10回×3セット）」を目安に毎日続けます。（みらいクリニック院長 内科医 今井 一彰 HPから抜粋）

健康友の会 会長　折山 安弘さん　　健和会 組織課　牛山 智代美さん　　健康友の会 副会長　伊東 正子さん　　健和会 医局座 小浜（おば～ま）雅（まさ）さん

かやの木診療所 日誌 9

診療体制が変更になります

かやの木診療所 事務長
久保田 早苗

今年に入り、健和会病院より新たに診療担当していただく先生方が増えました。水曜日午前は平林直章医師、伊壷友希医師が交替で担当、上曜日は週交替で変わりますが、鷲山久之医師が加わってくださいました。ベテランの先生方がそれぞれの専門を発揮し、新たな診療風景がこの地で生まれています。

5月から、診療所長が中村清医師より牛山雅夫医師へ交代し、火曜日午後の診療も担当していただいています。「夕方診療も金曜日から水曜日へ変更」となり、徐々に定着してきています。

今後も地域のみなさまの相談窓口となれるよう、職員一人ひとりが力を尽くしてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

かやの木診療所 診療体制

診療体制／受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 8：00〜11：30	中村	中村	平林（第1・3・5週） 伊壷（第2・4週）	中村	中村	交代制
午後 15：00〜16：30 水曜日（15：00〜18：30）	中村	牛山	中村（夕方診）	熊谷（第1・5週） 川田（第2・3・4週）	中村	—

飯田市病児保育施設 おひさまはるるは開設10周年！

利用総数はこれまで8,000人を超えました。

流行性耳下腺炎が大流行した年には年間利用者が1,000人を超えたことも。インフルエンザ感染の多い冬季には利用希望者が殺到し、毎年多数のお断りが発生してしまうことは課題となっています。そんな中でも、保育に必要な持ち物の保護者負担軽減を図ったり、開設当時16時までだった保育時間を18時までに延長拡大、利用対象年齢も引き上げたりするなど、施設・サービスを利用しやすく改善・実現をできてきた点もあります。

飯田市で唯一となるこの病児保育施設、これからも春の木漏れ陽のような優しくあたたかい空間づくりをめざし、子どもの病気で困った時にはいつでも相談にのれる、子育て応援の場になりたいと思っています。飯田市病児保育施設おひさまはるる 室長 小林 晴子

職場紹介 42

健和会病院 3-1病棟

職場全体で取り組む急性期看護

3－1病棟師長　久保敷彰子

3－1病棟は循環器、急性期治療を中心に担い、重症患者の治療にあたるHCU（ハイケアユニット）を含む病棟です。当病棟には、新人看護師、そして、慢性期から急性期までの看護を経験している経歴豊かなスタッフがいます。私は一人ひとりの経験がとても強みだと日々感じています。急性期の看護に当たる中で、在院日数の短縮化や、他病棟への転科などが病棟機能の中で必然的に求められています。連日、多忙な業務の中でも、患者により良い看護を提供するために、チームで話し合うことを欠かさず行っています。

病棟医長の牧内雅信医師をはじめ、新たに小平睦月医師も加わって、循環器医師が2名体制となりました。新たな不整脈治療も始まり、私たちスタッフも学びを深めていくことを病棟全体で取り組んでいます。循環器の専門性が高められることで、働くスタッフのモチベーションアップに繋がっています。

3－1病棟では、自然と互いが声をかけ合い仕事ができるよい雰囲気があります。病棟職員の一人ひとりが大切な仲間です。今後も、健和会病院での急性期治療を支える病棟として、働きやすい職場づくり、よい医療と看介護が提供できるようめざしていきます。

コロナや災害に負けない！「安心して住み続けられるまち」をみんなで実現しよう！

●月間：2020年9月―11月
●月間拡大目標：純増500人

飯田下伊那には4つの共同組織（**伊那谷健康友の会・手をつなぐ杜の会・ゆいの会・ひだまりの会**）があり現在会員は13,365名（8月12日現在）です。各会は対応する法人と連携し、健康づくりや助け合い活動などを行い、一緒に活動できる仲間を増やし「安心して住み続けられるまちづくり」をみんなで取り組んでいます。秋の拡大強化月間では、一年の中でも特に力を入れてその取り組みを行います。

伊那谷健康友の会では、コロナ禍でも地域健康班会や飯田市社会教育団体に登録された「バランスボールを愛する会」、たまり場「よりあい茶屋」の活動を通して参加者に声がけし、一緒に活動できる仲間を増やしてきました。共同組織への入会におけるその大きなメリットは、会員のみなさんが「安心して住み続けられるまちづくりに」にお住まいの地域で直接参加できることであり、それは「健康づくりと」と「助け合い事業」に主体となって参加できることです。この月間では、その「健康づくり」と「助け合い事業」を通して、一緒に活動できる仲間を500人拡大しましょう。

「健康づくり」では、昨年から行っているフレイルチェックを継続・発展させ、13地域にある各支部でフレイルチェックを行います。地域の方にも参加を呼びかけましょう。また、コロナ禍を考慮して班会で取り組み始めた「あいうべ体操」や「ロングピロピロ」など、「オーラルフレイル予防」に重点を置いて取り組みます。今年もみなさんに取り組んでいただく「健康チャレンジ」の景品は偶然にも「ロングピロピロ」です。積極的に取り組みましょう。

「助け合い事業」では病院の通院手段を担う「すこやか号」「みんなの手」や、紙おむつ・尿漏れパッドの共同購入事業、インフルエンザ予防接種補助について、患者さんはじめ地域の方にぜひ広くお知らせください。病院待合での患者さんへの呼びかけによる入会のお誘いも積極的に取り組みます。

今年はコロナの影響で従来の様々な活動が行いにくい状況でした。しかし、改めて今までの活動の大切さが見直されています。5月末まで中止していた班会やたまり場「よりあい茶屋」、バランスボール教室などは会員から再開が強く望まれ、6月中旬から再開した際には、参加者はお互い元気な姿を確認しあって喜びあいました。止まない雨はありません。みんなで知恵を出し合い、元気に楽しく取り組もうではありませんか。

伊那谷健康友の会事務局長　下島　隆宏

はやしの杜

「快適生活維持」のため寝具を一斉交換

老健はやしの杜事務　寺沢 江理

老健・特養はやしの杜では、利用者により気持ち良く生活していただくために、毎年7月に各居室の寝具を一斉交換しています。今年は7月9日にボランティアの人数も通常の半分の11名に絞って実施。新型コロナ感染拡大防止のため、入館時には検温・手指消毒の徹底、楽しいおしゃべりも禁止でしたが、どなたも作業に手慣れた方ばかりで、140組の寝具は1時間程であっという間に交換完了しました。コロナ禍の中でも、地域の多くのボランティアに日々支えられていることを実感した時間でした。

健和会病院

放射線科の

医療機器が新しくなります！

MRI装置は入替が終わり順調に稼働中です。

さらに、今後マンモグラフィー装置と血管撮影装置の入替が予定されています。二つはどのような装置なのか簡単にご説明いたします。

1 見やすく精度の高い優しい乳がん検査へ…

マンモグラフィーは乳がんをX線で映し出す装置です

乳がんは女性の癌罹患率トップで、50年前は50人にたった1人だったのが、現在は14人に1人が罹ると言われています。乳がん診断には、超音波診断装置（エコー）とマンモグラフィー装置を使用します。乳がんは放射状に広がる乳腺組織にできるがんで、乳腺構造は上下左右に入り組んでおり、小さな癌は見つけにくいのです。新装置は「トモシンセシス」3Dマンモグラフィー機能により若い女性の見つけにくい癌や小さな癌も見逃さないのが特徴です。また、マンモグラフィーを経験された方から、「胸の圧迫が苦痛」との声が聞かれていましたが、新装置では「なごむね」機能で体に優しい圧迫を実現し、苦痛を軽減しますので、安心して検査をお受けください。この検査は引き続き女性技師が担当いたします。

2 心臓や肝臓の治療を体外から実施…

血管撮影装置は血管造影検査や治療を行う装置です

健和会病院では、以前から血管撮影装置を使って心臓や肝臓、腕の治療を行ってきました。

手足の血管からカテーテル（細い管）を動脈や静脈に入れ、造影剤という薬剤を注入、腫瘍や血管の病気（狭窄・閉塞）を診断します。確定診断ができたら、カテーテルから腫瘍の栄養血管を塞栓したり、狭い血管を拡張するなどの治療を実施します。これをIVR（Interventional Radiology）と言います。IVRは、外科手術のようにお腹や胸にメスを入れず、体の奥にある臓器や血管の治療ができる方法で、患者さんの体への負担が圧倒的に少ないというメリットがあります。体外から病気を映すためには、X線で詳しく確認する必要があり、この装置が血管撮影装置です。2019年は411件の検査治療実績があり、2020年も心筋梗塞、不整脈治療、透析血管治療と多面的な活躍実績を積み上げています。今回、装置が古くなり、故障も発生しやすくなったことから、入替を決断。性能が向上し、より鮮明にキレイな画像を映し出すことができ、体にも優しいこの新装置の導入にご期待ください。

健和会病院 放射線科技師長
半崎　仁司

手軽に簡単 らくらく レシピ26

佐々木　朱美
健和会病院
健康管理課管理栄養士
飯田下伊那地域
糖尿病療養指導士

免疫を高めるための基本は、やはりバランス良く一日3食を食べることです。炭水化物（ご飯・パン・麺類）、蛋白質（肉・魚・卵・豆腐類）、野菜が毎食そろうと良いと思います。その中に、少しずつ免疫アップ食材を意識的に取り入れてみてください。免疫力を高めるには、第二の脳といわれる腸の環境を整えることが有効です。発酵食品や、食物繊維を多く含む野菜を積極的に取り入れると良いと思います。

ちなみに、ストレスで甘いものがほしくなる方もいると思いますが、砂糖をたくさん摂ることで血糖値が上がると、白血球やリンパ球に糖がくっついて、免疫力が落ち感染にも弱くなってしまいます。また、食事だけでなく睡眠時間の確保や、生活リズムを整えることも大切ですね。

オクラとなめこの麻婆豆腐
—市販されている素を使って時短料理—

エネルギー量（1人分）136kcal
蛋白質　8.9g　　塩分　1.5g

材料 4人分

- ㋐豆腐　1丁（約400g）
- ㋑オクラ　8本
- ㋒赤パプリカ　大1/2個
- ㋓なめこ　1パック（100g）
- ㋔麻婆豆腐の素　1パック（3人前）（今回はCGCの物を使用）

作り方

① オクラはヘタを取って、2～3㎝幅に切る。パプリカも種を取って2～3㎝角に切る。豆腐は1.5㎝程度のさいの目に切る。

② フライパンに水150mlを入れ、切ったオクラ、パプリカ、なめこを加え、軽く火を通す。

③ 麻婆豆腐の素を加える。豆腐を加え、ひと煮立ちさせたら一度火を止める。

④ 麻婆豆腐の素に添付されている片栗粉で水溶き片栗粉を作り、③に加えて混ぜる。（とろみ具合を見て片栗粉の量を調整してください。）

⑤ 再度火を付け、煮立たせ、とろみがついたら完成。

世論と運動で飯田市動く

介護報酬「引き上げ特例」問題で要求を実現

介護事業所とその利用者を混乱させている国の介護報酬「引き上げ特例」に関連して、飯田市は問題となっている利用者の負担増を解消するため、上乗せ部分を市が補てんすることを提案。8月4日の臨時市議会で承認されました。

コロナ対策の介護事業所支援として、6月から通所・短期入所サービスに対して、「報酬上の上乗せ」が臨時的に認められましたが、利用者の負担増になるとして関係者から批判の声が上がっていました。同市にも「同じ介護サービスなのに突然料金が上がるのは詐欺行為だ」などと利用者から直接苦情が届いていました。

こうした事態を受け、飯伊民医連は労働組合と共闘して、飯田市と近隣5町村に対し利用者負担増が発生しない措置をとるよう7月に要請していました。

要請に参加した健和会の吉川一実介護事業部長は、「飯田市が動いた。まさに画期的な補てんです。私たちの要請も後押しになったと思うが、一番は利用者から届けられた声でした。大変なのは事業所も利用者も同じです。他の自治体も続いてほしいが、国が制度そのものを改善すべき」と述べています。

飯伊地域連絡会事務局長

マスコミ（地元紙）から取材を受ける吉川部長（左）

健和会病院で「発熱者・有症者外来」を開始

健和会病院では8月から、新型コロナウイルス感染対策の一環として、「発熱者・有症者外来」を始めました。県外との往来が再開され、全国的にも感染者が激増する中、外来受診をするにも不安で病院に来られないという患者さんがいらっしゃいます。また、発熱や呼吸器症状で受診される方が、人に伝染（うつ）してしまわないかと不安にならないよう、きちんと対策をとった診察が受けられるようにと、病院西側に独立したプレハブ診察室を建て、冷暖房完備で診察に当たっています。感染に対する不安が全員で、受診を控えたり体調を崩される方が増えないように願っています。受診する前にぜひ電話でご相談ください。

健和会病院
外来師長
内藤 悦子

コロナ禍の夏休み　虫嫌いの克服

健和会病院　腎臓内科
塚原　優子

我が家の4歳の娘と2歳の息子は大の虫嫌い。お外に行きたいとねだられ、扉を開けた途端『アリ！アリ怖い！』と大泣きでUターンする始末だ。理想を言えば、ゴキブリを新聞紙でパーンと一撃！くらい逞しく育ってほしいと思っていたのだが、何故こうなったのか。

そう思い悩んでいた7月中旬、庭でカブトムシを見つけた。虫嫌い克服のためにと捕まえ、子どもたちに見せると『わー、カブトムシ！』と喜んだのも束の間、近づけると大泣きで逃げていく。意外な反応を示したのが主人だ。大興奮で本格的飼育ケースを購入してきた。

連休は家族でクワガタ探しに出かけ、子どもたちが『蚊！蜂！帰る！』と大騒ぎする中、主人だけは夢中で進んで行った。その後も、早朝に夕食後にと子ども二人を置いて山からカブトムシを捕ってくる。日に日に飼育ケースは増え、今や3ケース。定期的に元気なカブトムシに入れ替える丁寧ぶりだ。子どもたちは、『クワガタ！カブト！』と喜んでいるものの、全く触れず虫嫌いに進展なし。玄関に置かれた飼育ケースからは昆虫臭が強烈に放たれている。臭いのと子どもそっちのけでカブトムシの世話に勤しむ主人にイライラが積もっていた。

そんなある日、夕飯の準備をしていると、娘と息子が『ママ、見て！！』とカブトムシを持って走ってくるではないか。あの虫嫌いの子どもたちが触れるようになるとは、と感動。昆虫臭に耐え続けた一ヶ月が報われた瞬間だった。今、子どもたちは幼虫が孵るのはまだかまだかと楽しみにしている。

コロナ禍で花火大会もない、夏まつりもない、ないないと嘆いていたが、南信州の自然のお蔭で普段なら経験しないであろう、実に子どもらしい夏休みを過ごすことになった。制限された中でもできることを見つけると、思いがけない収穫があるかもしれない。

かなえ
ひまわり薬局

「2020年度薬局実務実習」で薬学生を受け入れ

かなえひまわり薬局では、新型コロナウイルス感染の終息が見えない中、薬学生の「2020年度薬局実務実習」を受け入れ、11週間（5月25日～8月7日）に及ぶ実習・指導を無事完了しました。

薬学教育6年制の下、薬学生は5年次に薬局と病院で各々11週間、計22週間の実務実習を履修します。当薬局での薬学生受け入れは、今回で6人目となります。

実務実習では、調剤・監査・服薬指導の他、疑義照会・医薬品情報・副作用モニター・安全管理・在宅医療・セルフメディケーションなど極めて多岐に亘る分野をそれぞれの担当薬剤師が受け持って、薬局メンバー全員が日常業務を抱えながら薬学生の実習指導に当たってきました。

薬学生に教えることで、自分たちの業務や働く環境整備を振り返る機会になり、当薬局では新人薬剤師の入職後久しいことから、学生がいることで薬局内に活気が生まれ、充実した時間を過ごすことができました。

薬学部卒業後の薬学生の就職先は、病院、薬局、製薬会社など様々ですが、今回の実習が薬学生の将来と地域医療にとって少しでも役に立ってくれたら、嬉しく思います。

かなえひまわり薬局 薬剤師
塩沢 由美子

協力債（7,000万円）
協同基金（3,000万円）
寄付金の募集状況

新しい医療機器、MRI・マンモグラフィー・血管撮影装置導入の資金募集活動では、7月の開始から1ヶ月間で「目標額の3割」を超えるご協力をいただいています。今回さらに「病院が新型コロナウイルス感染対策ですごく大変だから・・・」と、多額の寄付金をお寄せいただいているのが大きな特徴です。「いつもお世話になっています」「頑張ってね」とあたたかい労いの言葉をかけていただき励まされている私たちです。引き続きみなさまのご協力・ご支援をお願いします。

社会医療法人健和会 理事長
牛山 雅夫

8/6 納涼祭を開催

おみこしを担いだ入居者と職員が登場し、納涼祭がスタート。納涼祭を計画し、その準備に力を入れてきた職員による余興でまつりは大いに盛り上がりました。夜には食堂のテラスで花火大会も行い、みなさん夏を満喫しました。

コロナの影響で、なかなか外出もできず気分転換もままならない状況ですが、納涼祭開催により入居者の沢山の笑顔が見ることができ、職員も力を振り絞って準備してきたかいがありました。コロナも吹き飛んでいくような、楽しい時間をみなさんと一緒に過ごすことができ、心より嬉しく思いました。

ハートヒル川路

ハートヒル川路 介護職
下平 真由美

平和の波
PEACE WAVE
FRIEDENSWELLE
VAGUE DE PAIX
OLA DE PAZ
ВОЛНА ЗА МИР
和平的浪潮
موجة السلام

「広島・長崎に原爆が投下されてから75年」という節目の年を迎えて

飯伊民医連労働組合 書記長　近藤 健

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、地域で思うような取り組みができない中での「平和の波」行動。短期間の呼びかけでしたが、8月6日早朝、かやの木診療所、医療介護総合センター、健和会病院の3ヶ所で、職員54人がプラカードを掲げ、ひまわり薬局は千羽鶴で「核兵器廃絶」をアピール。「行動に呼応してくれたみなさんの平和活動への思いにはすごいものがある」と実感させられました。

2020年は、広島・長崎への原爆投下、そして、世界が3度の戦争の被害を防ぐことを決意し、国連を創設してから75年の節目に当たります。COVID-19パンデミックの下で開催された「原水爆禁止2020年世界大会」は、今年初めて「オンライン」で開催(4/25)。国際会議(8/2)、広島デー(8/6)、長崎集会(8/9)には延べ50名が参加。被爆者代表の体験談、世界各地からの様々な活動報告や訴えに、「こういった集会のやり方もありだと思った」「世界各地でいろんな平和の運動が取り組まれていることがわかり、確信が持てた」との感想が寄せられました。核兵器禁止条約の批准国は44ヶ国(8/9 現在)で、条約発効に必要な50ヶ国まであと一歩です。恥ずべきことに、日本政府はこれに背を向けていますが、私たち国民の意思は明確であり、強固です。世界が新型コロナウイルスの脅威に直面する下で、強く求められているのは、分断や対立ではなく、市民社会を含めた国際的共同です。活動が困難な時でも世界の市民がつながれば大きなメッセージを発信できることを示しています。秋の国連総会に向けて「ヒバクシャ国際署名」で世論の大波を起こしましょう。

【トピックス】6月飯田市議会では、「唯一の戦争被爆国であるわが国には、率先して核兵器禁止条約に参加するよう」強く要請し、全会一致での意見書採択が実現されました。

伊那谷健康友の会　9月10月の予定

※新型コロナウィルス感染拡大の状況により、延期または中止をさせていただくことがあります。

●9月14日(月) 13:30　下村公民館
千代支部　総会・医療講演とフレイルチェック(健康チェック)
講演「これからも元気に生きるためのヒント」(仮)
講師：健和会病院・リハビリ科職員

●9月17日(木) 13:30　松尾公民館
松尾支部　結成総会と医療講演
講演「感染予防について」(仮)
講師：健和会病院 感染管理認定看護師　関島　香

●10月15日(木) 13:30　羽場公民館
飯田支部　秋のフレイルチェック(健康チェック)

バランスボール、筋力アップ教室にお出かけください!

●鼎支部　鼎文化センター
毎週水曜日　10:00～11:00

●山本支部　東平防災センター
9月24日(木) 10:00～11:00
10月22日(木) 10:00～11:00

●高森支部　高森公民館
9月19日(土) 10:00～11:00
10月17日(土) 10:00～11:00

●かやの木筋力アップ体操　かやの木診療所
9月16日(水) 17:30～18:30
10月14日(水) 17:30～18:30

※どの会場もどなたでも参加できます。

2020年度年度共同組織拡大強化月間「スタート集会」開催のお知らせ

●開催日時：2020年**9月17日(木)**
18:00～19:00

●開催会場：飯田市鼎文化センター 大ホール
(飯田市鼎中平 1339-5)

●リモート学習講演内容：**「オーラルフレイルの予防と効果」**
サブテーマ：「新型コロナ感染拡大のこんな時だからこそ、お口の健康づくりを!」

●講師：**中澤 桂一郎 先生**
(利根保健生活協同組合 利根歯科診療所 所長 歯科医師)

●コメント：「健康寿命延伸のために口の健康づくりが重要です。認知症予防のためにもオーラルフレイル予防を早い時期から始めて、元気で長生きできるように支援をしたいと思っています。」

●利根中央医療生活協同組合
1病院2診療所2歯科診療所、他5事業所を多彩に展開する。
※参加者は限定させていただいています。

■健和会病院医療講演会
9月・10月は、新型コロナウイルス感染拡大により、休講いたします。

読者の声 & パズル

＊パズル　郵便はがきに住所、指名、解答を書いてお送りください。
正解者には記念品（図書券）をお届けします。（正解者多数の場合は抽選）
＊本誌のご感想、ご意見をお書き添えください。本誌に掲載させていただく場合もあります。
匿名希望者はペンネームをお書きください。
［宛先］　〒395-0801 飯田市鼎中平 1905-5 飯伊民医連

読者の声

手軽に簡単らくらくレシピ

いつも作ろう作ろうと思いながら読むだけだったのですが、今回みそキャベツは作りました。ほんとに簡単でおいしかったです。

（とげのないバラ）

笠松山の登山

私も3回登りました。山頂からの景色は最高です。お手軽コースでみなさまにぜひお勧めしたいです。

（アクアマリン）

「新型コロナ」に関して多くの方から、さまざまなご意見をいただきました。

＊いつもながら内容の濃い充実した記事はすみずみまで読み応えがあり、とても参考になります。新型コロナ感染の最前線で自らの危険や家族の方々の危険に身をさらしながら、他者のために細心の注意を払いながら努力されているみなさまに、日々感謝しております。

（ガム）

＊保健師さんの「健診、人間ドックや受診を控えないで！」（7月号5P）を拝見し、新型コロナ感染拡大が深刻化している状況下でも、私たち患者のために色々と考え対応してくださっている飯伊民医連所属のみなさんに、本当に感謝しています。

（滝 亮介）

＊「ウィズコロナ」ということで、コロナ感染症対策が生活の日常となりました。私の職場は、「密着、マスク困難、大声」でコロナ対応が大変です。「えっ」と思われる方もいらっしゃると思いますが「夜の街」ではありません。障がいを持つ子どもたちの「放課後デイ」です。抱っこをせがむ。感覚過敏、大声で飛び回って遊ぶ、急な日程変更…、コロナをどう伝えたらいいか、本当に気を遣います。色々と工夫をされている方、教えていただければありがたいです。もちろん、検温（非接触型）、消毒、手洗いなどは徹底しています。

（伊賀良の民）

＊新型コロナが始まった頃から、健和会病院入口に体温測定器が設置されましたが、最近の新しい機械（顔認識 AI 搭載非接触型発熱検知サーモグラフィカメラ／7名まで同時検知）で、どこの病院にもないものだったのでビックリしました。

（はるはる）

＊コロナで入院していて家族とも会えないと知って、どんなに不安で淋しいことかと心配していましたが、職員のみなさんの対応を知り安心しました。

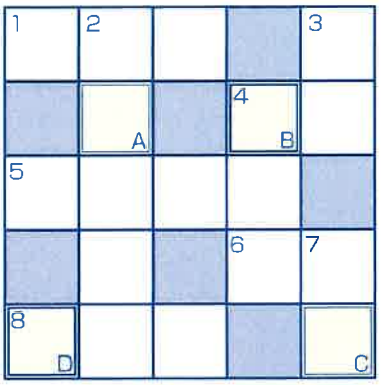
（まどミミ子）

＊東京や沖縄などでは、病院やホテルでコロナ感染の治療や療養に当たっている医師・看護師に心ない言葉を投げつける患者がいると聞き、医療崩壊を心配しています。

（ペチットさん）

クロスワードパズル

飯伊民医連



解答

A	B	C	D

ヨコのカギ

1　英語で切断すること。一部分を削除すること。紙を切ること。□□□ハウス。
4　地球の表面で、水におおわれていない部分。
5　砂漠の中で、水がわいて木がしげっている場所。
6　家財などをしまっておく厚い壁の建物。お□□入り。
8　紙を人や動物などの形に切り抜いて台紙に貼るアート。

タテのカギ

2　月の光。また、月の光で明るいこと。
3　動物の骨を包んでいるやわらかな物質。筋□□。
4　危険。危険度。危険性。損害の可能性。投資□□□。
7　はだかの婦女。特に、壁画・彫刻などの素材としていう。

■9月号の解答―らくがき
■9月号の当選者―たくさんの方に応募いただきました。正解者の中から抽選で次の方々に図書券をお送りしました。
オカチャン　草だらけ　たえちゃん　メダカ　桜井公子

飯伊民医連だより 9 No.232
発行　飯伊民医連　長野県民主医療機関連合会飯伊地域連絡会
〒395-0801　長野県飯田市鼎中平 1905-5
Tel 0265(52)5490　Fax 0265(52)5491
編集　機関誌編集委員会
発行責任者　織野　孝司
編集委員長　水野　耕介